

令和３年１月２１日
農 政 部

高病原性鳥インフルエンザの疑似患畜の確認について

1 農場の概要

所在地：宮城県角田市

飼養状況：あひる（肉用鶏）約7,000羽（殺処分予定羽数は約500羽）

2 経緯

- (1) 令和3年1月20日、午後3時頃、農林水産省より千葉県の養鶏場の家さんについて高病原性鳥インフルエンザの簡易検査で陽性となり、当該養鶏場から初生ひなを導入している角田市の養鶏場が千葉県の養鶏場の「疫学関連農場」と確認した旨の連絡があった。
- (2) 本日午前1時、農林水産省より遺伝子検査の結果、千葉県の養鶏場の飼養家さんが、H5亜型の高病原性鳥インフルエンザウイルスの疑似患畜と確認した旨の連絡があった。
- (3) 農林水産省は、発生農場から疫学関連農場に移動した飼養家さん（約500羽）についても、「高病原性鳥インフルエンザ及び低病原性鳥インフルエンザに関する特定家畜伝染病防疫指針（以下：防疫指針）」に基づき疑似患畜*と判定した。

※病性等判定日から遡って7日目の日から現在まで接触したことが明かとなった家さん

<農場見取り図 所在地：角田市>

【飼養規模・管理等】

- ・飼養羽数：7,000羽
- ・平飼い 部屋仕切りなし
- ・鶏舎5～7 ヒナ
- ・成鳥 各鶏舎500～1,000羽
- ・鶏舎一角に水場（1㎡ほど）
- ・エサは鶏舎床に盛る



【7号鶏舎】

導入元：千葉県のおひる農場

導入羽数：1/15(金)500羽

⇒国指針に基づき疑似患者と判定